



埼玉のぞみの園 広報誌

発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園 埼玉県深谷市本田3343 発行責任者 理事長 山崎勝



ご高齢になっても皆さんの笑顔のために



山崎理事長

8
2022 summer
NO.35

障害ある方の65歳の壁（私見）
社会福祉法人埼玉のぞみの園 理事長 山崎 勝

★エピソード①
重度包括支援を使い地域で生活していたAさんは、65歳になると市の職員から「介護保険を利用して下さい」と言われた。現在受けている福祉サービスは介護保険を優先にしてくださいとの話だった。

「障害福祉サービスが使えないから」

Aさんは家族と同居です。介護保険では、原則として個人が対象なので、家族分まで食事も洗濯も対応しない可能性があります。また介護保険は1割負担が基準です。結果的にサービス提供量の減少と新たな費用負担が生じるといって「重苦しくなりました」と言います。

★エピソード②

ある通所施設利用者のBさんは65歳になったのを機に生活介護を打ち切り、高齢者のデイサービスにすすめられた。

これも障害福祉サービスの生活介護は老人デイサービスと同じようなものだろうと考えてのことだと考えられます。Bさんは知的ではあっても車椅子ではありません。体も元気です。そして恐らくこの通所施設での日中活動の様な事は老人施設でのデイサービスでは行っていない。まるで地方行政は制度に押し込めようとしているようにしか見えないのです。しかし、ある市では70歳にならんとしている方を、同一法人の経営するグループホームから入所支援施設に「慣れている所の方がいいでしょ」と配慮してくれた事例もあります。

「市側の言い分」

市民には公平性が必要であり、一部のみに必要以上のサービス支給量（時間）を支給することはできないので、障害者総合支援法第7条に基づき介護保険の利用を進めて下さい。

この市職員は何としても介護保険に変えていきたいようであり、またそれが市の意向なのかもしれません。確かに65歳から介護保険の利用とわかってはいますが、それは中途障害者を前提としたもので多くの障害者には一律に考えづらいものです。

「障害者総合支援法第7条」の地方自治体

では、役所の言う7条とはどんなものなのか、条文を参考までに記載します。

総合支援法（他の法令による給付等）の調整

第7条 自立支援給付は、当該障害状態につき、介護保険法に規定による介護給付、健康保険法の規定による療養の給付その他の法令に基づく給付又は事業であつて政令で定めるものうち自立支援給付に相当する者を受け、または利用することが出来るときは政令で定める限度に於いて、当該政令で定める給付又は、事業以外の給付であつて国又は地方公共団体の負担に於いて自立支援給付に相当する者が行われたときはその限度に於いて行わない。

一度読んだ位では意味が分かりません。私なりに解釈すれば自立支援給付に相当するサービス（介護保険等のサービス）の提供を受けることができる場合は障害福祉サービスはその限度内迄提供できません…という事の大枠です。ここに介護保険の優先という固定観念が生まれつつあります。

次頁へ



法人レクリエーション大会



新型コロナの影響で延期となっていた法人レクリエーション大会ですが、約3年ぶりに深谷市ビッグタートルで開催することができました。久しぶりの開催でしたが、パン食い競争やボール運びリレーなどご利用者、職員ともに大いに競技を楽しみ、盛り上がりを見せていました。感染対策を含め万全の準備で進められたこともあり、心配されたコロナ感染やケガ等なく無事に実施できました。法人がひとつになるこの行事が今後も継続していけるように、これからも元気に過ごしていきましょう。（総務部 笹間）



おすすめ授産製

今回、他法人様のお勧めもご紹介！

★チーズクリームパン

第2春日園 はる工房

埼玉のぞみの園のお勧めは、はる工房の「チーズクリームパン」です。白く柔らかい生地にクリームチーズがふんだんに入った丸いパンで、チーズ好きには堪らない一品です。法人レクリエーションの恒例種目パン取り競争でも登場します。

はる工房、とんとん市場、JA川本、わくわく広場ティアラ21店（熊谷市）、本庄店（ピバモール内）で購入できます。

〔情報〕埼玉県深谷市本田7050 (TEL 048-598-8002)



★どら焼き

（社福）戸田わかさ会 福祉作業所ゆうゆう様

一つ一つ丁寧に手で焼いた手作りのどら焼きです。戸田市優良推奨品に認定されており、皮には埼玉県産の小麦粉を、小豆は北海道十勝産の小豆を使用するなど、材料にもこだわって作っています。多くの種類を取り扱っており、どれを買おうか迷ってしまうほどです。私のお勧めは定番の「どら焼き」です。季節限定の商品も種類豊富でお勧めです。深谷たんぼ自然館にて定期的に取り扱いしており購入できます。自然館の中で人気商品となっており、リピート率の高い商品ですよ！

〔情報〕埼玉県戸田市本町5-11-12 (TEL 048-433-4006)



（深谷たんぼ 齊藤）

9月17日 理事会
※新型コロナウイルス感染症状況により変更する場合がございます。

今後の予定

スタッフ募集のお知らせ

- 募集内容
正職員、パート、ボランティア
詳細は総務部までご連絡ください。
- 連絡先
〈電話〉 電話048-594-6511
〈メール〉 info@nozominosono.jp

法人ご寄付ご協力者様

順不同・敬称略にてご容赦願います。
※令和4年4月～令和4年7月末現在
埼玉のぞみの園家族会本部
ご寄付ありがとうございます。
福祉向上のために使用させていただきます。



地域貢献活動 取り組み



地域でSDGsの取組が活動的に行われるなか、埼玉のぞみの園の地域貢献活動も徐々に定着してきたように感じています。法人ではこの活動をより良いものにしていこうと委員会を立ち上げ、意見を交わしています。「できることから継続的に取り組もう」という考えのなか、今後もゴミ拾い活動やペットボトル回収活動、災害募金活動などに取り組んでいきます。また、地域貢献につながるような新しい取組についても皆で考えていきたいと思ひます。(総務部 笹間)



100年前のスペイン風邪は収束まで約2年強かかったようですが、コロナは2年経っても第7波を迎えてまだまだ猛威を振るっており、終息の見通しも立たない状況下であります。多くの周辺施設でコロナの感染が取りざたされる中、本法人では無事業が続いていけることに職員はじめ利用者に感謝申し上げる次第です。

財政的には以前から厳しい収支であった生活サポート事業が約10年ぶりの黒字転換となり安堵しているとともに、相談のぞみにおいても収益率が改善されつつあり、ほぼ予想通りに推移した1年になったのではないかと考えます。全体の支出からみると若手職員が増加していることによる人件費減少という側面もあり、逆に経験不足による支援力低下にも繋がることでもあります。今後定年を迎える人は5年間いません。自ずと人件費が増加していきだけという状況になります。具体的な将来計画の作成が必要ではないかと感じています。

法人運営では人材確保・各施設の将来展望など課題は尽きませんが、今後も着実に進めてまいります。

▶貸借対照表から
純資産の部合計
2021年度 1,916,429千円 (純資産比率78.5%)
(前年度) 1,806,152千円 (純資産比率77.0%)
より財務的に安定したことを表す数値です。

▶事業活動計算書から
当期活動増減差額
2021年度 132,134千円
(前年度) 115,410千円
2021年度の好調な経営成績を表しています。

【ご利用者平均工賃】
Table with 5 columns: 施設名, 収入, 必要経費, 工賃支払額, 平均工賃. Rows include 第2春日園, 深谷たんぼぼ, つくし作業所.

【福祉系国家資格取得者数】
Table with 2 columns: 資格名, 員数. Rows include 社会福祉士, 介護福祉士, 精神保健福祉士.

詳しい計算書類をご覧いただくには? ⇒ 法人ホームページの「園について」を選択しクリック ⇒ 「情報公開」を選択してクリック ⇒ WAMNETのリンクをクリックするとご覧いただくことができます

助成金をいただきました



令和4年5月～令和4年6月
埼玉県共同募金会様
赤い羽根共同募金

- 対象事業所：深谷たんぼぼ
 - 対象事業：木工作业室断熱工事
 - 助成額：1,740,000円
- 屋根と外壁に遮熱効果の高い塗料が塗られ、手を触れても熱くなくなりました。入口の扉が3枚になり、開口が広がりました。またポールを設置したことで、台車等による破損の心配がなくなりました。
夏季は熱が籠りやすく熱中症が心配される作業室でしたが、今後ご利用者がより快適に集中して作業に取り組めることを期待しています。ありがとうございました。

2021年度 埼玉のぞみの園 決算報告・事業報告

【過去3年間 施設・事業所 障害福祉サービス等事業収入】
Table with 4 columns: 事業所, 通所施設等事業部, 生活支援等事業部, 地域支援等事業部, 法人全体. Rows for 2021, 2020, 2019 years.

【法人職員数】
Table with 5 columns: 事業所, 本部, 通所施設等事業部, 生活支援等事業部, 地域支援等事業部, 法人全体. Rows for 2021, 2020, 2019 years.

「浅田訴訟」
今私達が65歳問題を考えるとき、浅田訴訟と言われる裁判を是非銘記して欲しいです。
この裁判は重度障害の浅田氏が65歳以降に岡山市から介護保険の利用を強制された、いわゆる65歳問題で、広島高裁は2018年12月一律に介護保険を優先し障害福祉サービスを打ち切った岡山市の処分を違法としたのです。
この事は各地の当事者団体を大いに奮い立たせたと思ひます。重度の車椅子利用者は一度も歩いたことがないのです。だからこそ自由に外出できる喜びを奪われることに大きな怒りがわいてくるのです。
2007年の厚労省の通知では、障害者が同様のサービスを希望する場合でも、心身の状況やサービス利用を必要とする理由は多様であり、介護サービスを一律に優先させ、これにより必要な支援を受けることが出来るか否かを一概に判断することは難しいと指摘しており、市町村が利用者の意向を聞きつつ判断する重要性を強調しています。
ならば7条の様な判断に迷うような条文など作らなければよかったものをと素人的には思っています。が、同じ趣旨の通知は2015年2月にも示されているようにです。
また、この様な訴訟は他にも北海道訴訟「障害者を年齢で差別するな」等と数例あるようです。

「自分で出来ることは自分でやる」を基本に介護認定が行われる仕組みとなっています。そして現在は介護保険の給付を抑制する手段として「自立支援」の必要性が論じられ、障害福祉との乖離が大きくなってきているように思われます。
一方、障害福祉では当事者運動を経た結果、障害者が日常生活で介護者のケアが必要だとしても、障害者が自らの人生や生活の在り方を自らの責任において決定、または自らが望む生活様式を選択して生きていく事を「自立」と見なしており、障害者総合支援法には基本理念が規定されています。
例えば重度の障害がある方が出産し、赤ちゃんのオムツの交換や授乳等のお世話をヘルパーにお願いせざるを得ないような場合、介護保険ではそのような場面を想定できませんが、障害福祉では多分にあるケースです。其れを本人以外へのサービス提供になるので出来ませんと有り得ません。正に介護者のケアが必要だとしても、自らの責任において人生や生活を決定して行く、この事がそもそもの障害福祉の基本的な考えになっていくのです。
「社会保障審議会障害部会かい」
これら諸問題も(2021年12月)開催の社会保障審議会障害部会で改正後の3年見直しで「高齢の障害者に対する支援等について」話がなされています。
その中で、介護保険サービスの利用にあたっての課題への対応として、共生型サービスや新高額障害福祉サービス等給付費が創設されましたが、対象利用者への個別周知をしている自治体は3割にとどまっているようにです。



支給決定を行う市町村によって運用の差異があるとの指摘を踏まえ、一律に介護保険サービスが優先されるものではない事等の運用に当たっての考え方について、改めて周知徹底を図ることが必要であると述べています。
「障害者総合支援法の理念の遂行を」
私は介護保険を否定するものではありません。充分社会経験を積んだお年寄りをケアしていくためには出来る出来ないの引き算形式の認定も有効ではないかと思ひます。特に寝たきりになった場合の家族等の負担を考えたときには必ずお願いすることとなると思ひます。
私達には旧法の目的である「自立」という事を前提に物事を考えてしまつ習慣の様なものも存在します。しかし障害者総合支援法では自立という表現の代わりに「基本的人権を享有する個人としての尊厳」と明記され、正に日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律となつて行つて欲しいと思ひます。



「WITHコロナ」各事業所の取り組み



春日園



入所施設の春日園ではコロナ禍でも季節を感じて欲しいと、庭の菖蒲を使った菖蒲湯を楽しみました。今はスイカを育ててスイカ割り企画中です。施設内の事務所など人の集まるには二酸化炭素濃度測定器やアクリルボードを設置したり…と継続した対策を取りつつ、ご利用者と四季折々の生活を楽しくしています♪(齊藤ち)

春陽の里



春陽の里では、短期入所の受け入れを継続して行なっています。短期入所を利用する方も、施設内で生活する方も職員も全員が安心して過ごしていただけるよう、利用1週間前からの健康観察表の記入や利用前の抗原検査の提出をお願いし、感染対策を強化する等、工夫して受け入れの体制を整えています。コロナウイルス蔓延当初は利用人数も減少していましたが、最近では満床の日も見られるようになってきました。また、職員も定期的な抗原検査の実施、利用者の外泊時も抗原検査を実施する等、まだまだ感染対策は継続しています。(吉田)

第2春日園



標準予防策を基に感染対策を実施しています。手洗い、うがい、マスク着用、アルコール消毒、食事時はパーティションを利用し、室内・車内空間はオゾン空気清浄/換気を行っています。3年目になり一つ一つが上手に出来るようになりました。互いに離れていればマスクを外している方もいて、密空間の時には互いに声をかけてマスク着用を促したりとご利用者同士でも注意喚起が出来ています。身に付いた標準予防を大切にしながら、状況に応じてマスク着用などが出来るよう支援していきます。(新)

深谷たんぽぽ



コロナ禍でも非日常を味わえるように令和2年度から「ミニ行事」を行っております。月1回ほどの頻度で七夕まつりや納涼祭、勤労感謝祭、ひなまつりなど季節の行事にちなんで所内で職員考案のゲームを楽しんだり、食品班が作る絶品おやつをウハウハ言いながら頬張ったりしています。皆様で楽しく過ごすより一層仕事にも精が出ます。今年の秋には3年ぶりに一泊旅行を検討中です。感染予防をしながら、できる範囲で楽しく過ごす工夫をしたいと思っています。(齊藤め)

妻沼つくし作業所

去年はコロナの影響でつくし祭りが行なえずに残念でしたが、今年はコロナも少し落ち着き規模を小さくして開催することができました。

お祭りの中で「熊谷蕎麦打ち会」の皆様をお呼びして、蕎麦打ちの見学と昼食にお蕎麦を頂きました！

ご利用者の皆様と職員も打ったお蕎麦をみんなで頂き「美味しい」とお声も飛び交い、とても満足した一日でした。(鈴木)



のぞみの園ホーム



ホーム初の誕生日会を行いました！今までは個別にケーキを買ってお祝いしていましたが、コロナも少し落ち着いた6月に延期となっていた食事会を行うことにしました。

皆さん久しぶりの外食ということもあり、食べる前から楽しそうな様子でした。好きな物をお腹いっぱい食べ、デザートを頼んだり、お酒を楽しんだりと笑顔たくさんの食事会となりました。皆でご飯を食べると、誕生日がより一層特別に感じられますね♪(手塚)

生活支援サービスのぞみ(ヘルパー)



生活支援サービスのぞみ(ヘルパー部)では、感染状況や社会生活の状況の変化に合わせ、公共交通機関や商業施設の利用、お祭り等の行事への参加を感染対策をしつつ段階的に解除しています。また、各車両にはウイルス対策とし空間除菌剤を設置、熱中症防止の観点から屋外での散歩等についてはマスクを外すなど場面ごとに切り替え安全に過せるようにしています。(萩原)

生活支援サービスのぞみ(デイ)



生活支援サービスのぞみ(デイ)では手洗い・消毒をしっかりと行いながら、近所のスーパーへの買い物体験やお昼ごはんの調理実習を再開しました。自分の好きなおやつを選んで「切る」「混ぜる」等の調理に参加するご利用者の姿は真剣そのもの!!感染対策を行いながら、様々な経験を積めるよう支援していきたいと思えます。(田畑)

総務



P6スタッフ募集欄もお願いします♪

総務部では求職者の施設見学のご案内を行っています。コロナ禍により求職者に満足していただけるご案内ができていない現状がありましたが、各施設、事業所の規制も少しずつ解除の方向に向かい、見学に繋がれるようになってきています。今後も感染防止策に取り組み、施設、事業所と連携しながら柔軟に対応していきたいと考えております。(笹間)

相談支援センターのぞみ

相談支援センターのぞみでは、先方の事業所のご意向に合わせてモニタリングを行っていました。これまでは電話やZoomを用いた面談が多かったですが、最近は直接お会いしての面談が増えてきました。しかし、まだ油断はできない状況ではありますので、ソーシャルディスタンスや極力短時間での面談となるよう意識をしています。今後も状況に合わせて柔軟に対応していきたいと思えます。(浅井)

NEW OPEN!



ふかや花園プレミアム・アウトレットオープンに先駆けて、深谷テラスパークとヤサイな仲間達ファームが5/28にオープンしました！深谷テラスには巨大遊具やじゃぶじゃぶ池があり、子ども達が思う存分楽しめる場所となっています！ヤサイな仲間達ファームは深谷の野菜を中心に、素材を活かした料理を楽しめます。季節の果物や野菜を使ったフレーバーのソフトクリームがオススメです♡



うらら



深谷市障害者基幹相談支援センターうららでは、コロナ禍で会場に集まった研修会が開催できなくなりましたが、Zoomにて研修会や各種連絡会等を開催していました。ですが、Zoom開催は回線が切れてしまったり、グループワークが行いづらかったりとデメリットもあったため、フェイスシールドを購入し、感染防止に気をつけながら、今年度からは会場に集まった研修会等も再開しました。今後も状況を見ながら臨機応変に開催できればと考えております。(大崎)